
ある殺人事件について

Campanella

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ある殺人事件について

【Nコード】

N5605E

【作者名】

Campanella

【あらすじ】

東京の雑居ビルで起こった殺人事件。

そこはアルベルト・ファイナンスと言う、地元では悪名高い闇金業者だった。

中には事務用机が六つ、そして、奥に、上司のものとされる机が一つ置いてあった。

当初、無人かに思われたが…？

オレが上司の机の奥にまわりこんで見て見ると、男が影に倒れていたんだ…。

もちろん、オレはそんなに医学に詳しくないが、普通目に見て、そいつは『死んでいた』

胸にナイフがささっている。

心臓一突き…ってやつかな…。オレはそう思って警察に電話した。一応、救急車にもな。まあ案の定無駄だったけどな。

「…なるほど、してから、私たち警察がここに駆け付けたと言う次第に相成った訳だ。」

目の前では館山警部補が煙草を吹かすように禁煙パイプを吸いながら、オレに話しかけている。

「ええ、まあ…やはり、犯人は…。」

「そうだな、とりあえず、君とぶつかった男が重要参考人となるだろう。近い内に指名手配ということになるだろうな。」

ほど無くして、一通りの調書を取り終え、圭太は帰って行った。

館山はまるでその管の先に煙でも漂っているかの様に、ぼんやりと眺めていた。

続く

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5605e/>

ある殺人事件について

2011年1月19日02時29分発行